

台湾交流研修に行ってきました！

12月16日(火)～19日(金)、人文科学コース2年生は「台湾交流研修」に行きました。この研修は国際性・英語での表現力を身につけることをねらいとしています。また、交流を通して、コミュニケーション能力や人間力の向上も目的としています。この4日間、生徒たちは様々なことを体験し、学び、そして、考える機会になりました。

○12月16日(火)台湾1日目

1日目は移動日です。9時15分に小松空港に集合し、台湾へと出発しました。昼過ぎに桃園国際空港へ到着後、バスと新幹線を利用して嘉義へ向かいました。長時間の移動となりましたが、生徒たちはこれから始まる研修への期待に胸を膨らませていました。

○12月17日(水)台湾2日目

2日目午前は、研修の中心となる国立新營高級中學(高等学校)との交流会を行いました。現地の生徒たちは、本校生徒の名前が書かれたプラカードを手に、笑顔で温かく迎えてくれました。本校生徒は英語で課題研究の発表や日本・小松の紹介を行い、新營高級中學の生徒たちはダンスや歌などのパフォーマンスを披露してくれました。初めは緊張していた生徒たちも、交流を重ねるうちに打ち解け、別れを惜しむ姿が印象的でした。



(生徒の感想)

・台湾の学生は英語力が私よりも遥かにあってとてもびっくりしたので、これからは英語の勉強をさらに身を入れて頑張ろうと思った。



午後は台北へ移動し、故宮博物院を見学しました。世界的に貴重な文物を前に、生徒たちは熱心にメモを取りながら鑑賞していました。展示を通して、台湾の歴史や文化の奥深さを実感するとともに、多様な背景を持つ文化財が今に伝えられている意義について考える時間となりました。

○12月18日(木)台湾3日目

午前は、TSUTAYA台湾での企業研修を実施しました。TSUTAYA TAIWAN本社を訪れ、大塚一馬社長による講話を聞かせていただきました。グローバル社会の第一線で働く大塚社長のお話を聞かせてもらい、生徒たちの視野は今回の研修を経てより一層広がった様子でした。

午後はB&Sプログラムで、現地大学生に案内してもらいながらグループごとに永康街や台北101などを回りました。小籠包やマンゴーかき氷など、事前に調べた台湾グルメを楽しんだり、大学生に台湾について教えてもらったりと、台湾の文化を肌で感じた3日目となりました。



○12月19日(金)

早朝にホテルを出発し、全員元気に小松空港へ帰ってきました。生徒たちは、台湾交流研修で得た経験や学びを今後の学校生活や将来に生かし、より豊かな人間性を育んでいくことが期待されます。

全体を通して(生徒の感想)

- ・海外の文化、言語、食事、歴史についてはもちろん興味を持ったし、自国についても説明できるように、しっかり学ぼうと思った。
- ・「言語を学ぶ」ことへの意欲がとても高まった。学生と交流し、理解できなかったところもあったので、「英語」だけでなく台湾で使われる「中国語」も積極的に学んで台湾の文化をより知りたいと思った。
- ・伝えたいことが相手にわかってもらえたときにとても嬉しかったし、もっとスムーズにコミュニケーションを図れたら楽しいだろうと感じた。だからこそ日々の地道な学習も大事にできれば、将来の幅も広がるだろうなと思った。

今後の予定

- 1月29日(木) 令和7年度石川県SSH・NSH合同生徒課題研究発表会
- 2月2日(月) 新営高級中学校来校